

## とやまエコ・ストア制度登録店の取組み実績（令和4年度）


とやまエコ・ストア制度の取組み（1レジ袋無料配布廃止、2資源物の回収、3低炭素化の取組み）により、次のような効果が得られると推計されます。

〔 〕内：令和3年度との比較）


### ① ごみ排出削減量

1,639 t [-160]	(レジ袋の削減量)	
・富山県内のごみ総排出量（412,391t (R2)）の0.4%分に相当		


### ② リサイクル量

3,348 t [+99]	(資源物の回収量)	
・富山県内のリサイクル量（105,382 t (R2)）の3.2%分に相当		

### ③ 最終処分（埋立）削減量

660 t [+38]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量から、これら进行处理したときに発生する焼却灰や不燃物の量を推計)	
・最終処分量（39,041 t (R2)）の1.7%分に相当		


### ④ CO<sub>2</sub>削減量

35,421 t-CO <sub>2</sub> *1 [-62]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)	
●富山県の約7,330世帯分の年間CO <sub>2</sub> 排出量に相当*2 ●県民1人当たり年間34.8[kg-CO <sub>2</sub> ]の削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間87.4[kg-CO <sub>2</sub> ]の削減量に相当		

※1 富山県内の民生業務部門のCO<sub>2</sub>排出量（135[万t-CO<sub>2</sub>] (R2)）の2.6%分に相当

※2 1世帯の年間CO<sub>2</sub>排出量を4.83[t-CO<sub>2</sub>/年] (R2 富山県推計)として推計

### ⑤ 原油削減量

12,007 kl*1 [-23]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)	
県民1人当たり年間11.8[l]の原油削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間29.6[l]のガソリン削減量に相当*2		

※1 ドラム缶 6.0[万本]に相当

※2 原油が全てガソリンに精製されると仮定

県民の皆さんと事業者の皆さんとの協働の取組みは、ひとつひとつは小さな行動ですが、これが輪となって広がって、大きな効果を生みます。  
お店とのエコ活動をきっかけに、家庭や職場でもエコライフの実践を“あたりまえ”にしましょう！

